

研究会レポート

北方海域技術研究会

文責：北方海域技術研究会幹事 藤井淳夫

平成 22 年度 第 1 回講演会の報告

1. はじめに

北方海域技術研究会では、2010 年(平成 22 年)7 月 9 日に平成 22 年度の第 1 回講演会をホテル札幌ガーデンパレス(孔雀の間)にて開催しましたので報告いたします。

2. 概要

第 1 回講演会の参加者は、63 名でした。はじめに、当研究会の代表であります大塚 夏彦氏より、日頃の会員の皆様の活動へのご協力のお礼と、講演会の開会に当たって、参加されました方々への挨拶を述べて頂きました。



挨拶される当研究会 代表 大塚 夏彦 氏

講演 1 として、北海道開発局函館開発建設部、函館港湾事務所の所長であります、横山 純氏に「漁港における衛生管理の実態と今後のあり方について」と題してご講演いただきました。

水産物集出荷拠点漁港における衛生管理の主な取り組み状況を漁港管理者へのヒアリングから取りまとめておりました。ここでは、管理者が考える施策と消費者が考える施策には、優先順位にかなりの隔たりがあること、漁港での使用海水の衛生管理対策が重要なポイントであることが判りました。そこから我が国の漁港の水質実態の把握に繋げて、港内海水の水質の内、大腸菌や大腸菌群、食中毒原因細菌な

どの浸入軽減対策の必要性をご説明されていまして。また、細菌学的調査によれば河川水と因果関係があり、漁港と河口部の距離や漁港の入口の向きが大きく影響することも図を使用して判りやすくご説明いただきました。

漁港内海水の清浄性確保に代表される漁港の衛生管理対策のあり方の検証によると、漁港からの取水海水の殺菌効果は、紫外線殺菌・海水電解殺菌・塩素殺菌では 99%、殺菌海水を用いた長靴等の洗浄効果は、方法によって概ね 70%であることが確認されたそうです。

漁港の衛生管理推進に向けた今後の展開として



講演される 横山 純 氏

は、食料の 1 次生産から消費までの全ての段階で食品の安全性を確保する考え方であるフードチェーンの重要性、一連の規範・基準を満たす衛生管理認定制度の創設やトレーサビリティの導入を図ることの必要性、継続研究の必要性をご説明いただきました。

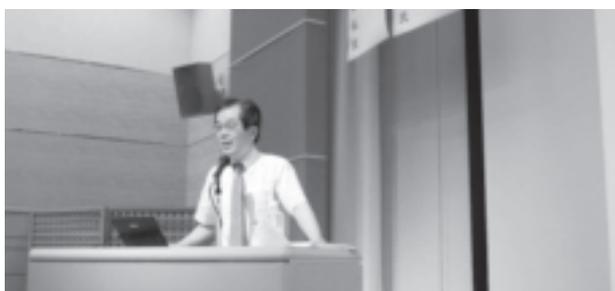


聴講する参加者

漁港の衛生管理の施策作成業務を行う上で、判りやすく大変興味深い内容のご講演でした。

講演2として、北海道大学大学院工学研究院北方圏環境政策工学部門 教授 横田 弘 氏に「港湾構造物に関するアセットマネジメント関連技術」と題して、ご講演いただきました。講演では、近年話題となっていますアセットマネジメントについて、その定義からお話いただきました。

アセットマネジメントを行うに当たっては、国民から預託された共有財産である社会資本を資産管理者である国や自治体が運営維持管理していく時に、



講演される 横田 弘 氏

アセットマネジメントを手段として使うこと、また、施設管理者も十分な知識をもって、きちっとした体制を築く必要があることをご説明いただきました。

事例では、港湾構造物の維持管理の方法について、維持管理の優先度の設定から点検に入り、劣化予測、LCCの算出することで評価・判定を行うことが説明されました。その場合も、施設管理者を中心として、維持管理計画等の受託者、維持管理工事請負者、第三者機関の学識経験者等の適切な技術者の配置が重要であることをご説明されました。

さらに、単なる維持管理ではなく、戦略としての維持管理として捉え、構造物の機能が将来にわたって持続的に維持され、老朽化によって喪失されないという目標を掲げ、構造物の長寿命化を「戦略」、予



聴講する参加者

防保全を長寿命実現のための「戦術」としてご説明されました。

また今後は、損傷・劣化診断から保有性能診断へと移行していくことも、大変判りやすくご説明いただきました。聴講する方々も大変興味深く聞き入っていたのが、印象的でした。

最後に、当研究会の副代表の宮部 秀一 氏に、2つの講演の印象に残った点などを交えて終わりの挨拶をしていただきました。



挨拶する当研究会 副代表 宮部 秀一 氏

また、その後の意見交歓会は、同じホテル札幌ガーデンパレス(錦の間)で行い、27名の方が参加されました。第1回講演会の講演内容と講演者は表-1のとおりです。

表-1 講演内容と講演者

講演内容	講演者
講演1「漁港における衛生管理の実態と今後のあり方について」	北海道開発局 函館開発建設部 函館港湾事務所 所長 横山 純 氏
講演2「港湾構造物に関するアセットマネジメント関連技術」	北海道大学大学院工学研究院 北方圏環境政策工学部門 教授 横田 弘 氏

3. おわりに

講演者の方々には、快く講演をご承諾いただき誠に感謝いたします。漁港の衛生管理、港湾のアセットマネジメントと大変タイムリーな演題で参加者も大変興味を持って聞いておりました。質疑応答も活発に行われ大変有意義な時間を過ごせましたことを感謝いたします。また、講演会後の意見交歓会でも活発な情報交換が行われましたことを合わせてご報告申し上げます。

北方海域技術研究会では今後も講演会などの開催を予定しております、会員の方は勿論、会員以外の方も歓迎致しますので是非ご参加いただきますようお願い申し上げます。